

町では、社会情勢の変化などに柔軟に対応するため、新たに実施する事業や内容を変更する事業などについて、毎年度、総合計画を見直すこととしています。

町で作成した見直し素案について、下川町総合計画審議会で審議を行い、昨年12月2日に麻生 翼会長から町長に報告がありましたので、審議会からの意見を一部抜粋し、わかりやすい表現で紹介いたします。なお、町のホームページから、審議資料や答申書をご覧になれます。

○総合計画とは

町の計画の中で最も上位の計画で、12年間（令和元年度～令和12年度）の計画です。町の行政運営は、緊急の場合などを除き、総合計画に基づいて運営されています。

トップページ↓行政情報↓総合計画

(<http://www.town.shinokawa.hokkaido.jp/>)



○多目的宿泊交流施設

(アイキャンハウス) 改修事業

町の考え方

経年劣化が著しいことや現代のニーズに合っていないことから、トイレ数の増加や浴室拡張、居室床面改修などを実施します。

審議会の意見

利用者から、「通常の生活では特に不便を感じていない」と聞きました。将来的な生徒数の見通しを踏まえて、計画していたきたいと思います。

快適環境 地域づくり部会

○ゼロカーボン推進事業

町の考え方

2050年二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」もかわりの実現に向けて、地球温暖化対策実行計画を策定し、各種施策を推進します。

審議会の意見

行政・民間・町民が一体的に取り組めるように町内の普及活動に重点を置き、イベントでの普及活動や町の取組を見え

審議会の主な意見

全体を通して

今回の総合計画の見直しでは、令和5年度から令和7年度まで、基礎的財政収支（プライマリーバランス）が赤字で財政運営基準を満たしておらず、大きな不安が残ります。今後、財政運営基準を遵守することを強く望みます。

そのためには、施策と事業の取捨選択を積極的に行うとともに、公共施設の統廃合については、今後の人口減少に伴う利用者数の減少や財政状況を考えたうえで、各課横断的な組織である下川町行政改革推進本部において、本答申を踏まえて、積極的な議論を進めていただき、具体的な取り組みにつなげていただきたいと思っています。

※基礎的財政収支（プライマリーバランス）

収入と支出のバランスで、政策のために必要な費用がその年の税込収入などでまかなわれているかを示します。黒字だと

る化するなど、上手に情報発信をしていただきたいと思います。

○地域情報通信基盤整備事業

町の考え方

行政情報告知端末（IP告知端末）について、システムサーバーや端末の保守が限界であることから、端末を更新します。また、スマートフォン用アプリの導入により、更新台数の抑制を図ります。

審議会の意見

2億7,500万円を要する事業であることから、各家庭に設置されている端末の必要性について、1台あたりの更新費用などを明らかにしながら的確にニーズの把握をしていただくとともに、他市町村の取組も参考にして、事業費のかからない情報発信の方法も検討していただきたいと思っています。

産業経済部会

○農産物加工研究所運営事業

町の考え方

農産物加工研究所について、令和6年度から公設民営方式による運営を行います。

お問い合わせ 政策推進課 4-2511-内線232 4-2511-02



町の借金残高は減少し、町の貯金残高は増加しますが、赤字だと、町の借金残高は増加し、町の貯金残高は減少します。

福祉・教育部会

○学校教員住宅整備事業

町の考え方

町外から通勤している教員の住宅環境を整備するため、小学校及び中学校の教員住宅を年次計画で整備します。

審議会の意見

今後、児童・生徒数の減少が予想されることから、将来、整備した教員住宅が空き家になった場合には、町民も住めるよう柔軟な対応をお願いします。また、整備にあたっては事業費の削減に努めていただくとともに、効率的な管理をお願いします。



審議会の意見

当初の計画では、令和5年度から公設民営方式により運営を行う計画でしたが、1年延長となりました。急ぐ必要はありませんが、延長が何度も続くことが無いように、適切なタイミングでお願いします。

○下川産材を使用した備品購入事業

町の考え方

公共施設内で使用している机や椅子などの備品について、一部を除いて外注品や既製品が多々あることから、地域材を利用したものを購入します。

審議会の意見

公共施設の利用者や指定管理者などから丁寧な聞き取りをしながら、機能性・耐久性・デザイン性を考慮し、購入していただきたいと思います。また、修繕しながら使い続ける工夫や使い終えた備品の燃料化なども検討していただくようお願いいたします。

